

北海道と北海道民を愛する皆さまへ

北海道内の新型コロナウイルス感染拡大を抑えるためのお願い

2020年6月19日

北海道大学医学研究院公衆衛生学 玉腰暁子

本日からいよいよ、札幌市はもちろん、他県との往来自粛要請が解除となりました。休業要請が解除されて社会経済活動を元に戻すためにお忙しい皆さま、気持ちのよい北海道の初夏をどこで過ごそうか楽しみにしていらっしゃる皆さまも多いことと思います。ただ、残念ながら北海道では、札幌市を中心とする地域で毎日、新規感染者の報告が続いています。1週間の10万人あたりの新規感染者数をみると、東京（1.49）に次いで第二位（0.88）であり、緊急事態宣言解除の目安値（人口10万対0.5人未満）を上回る状況となっています。

この感染症とのつきあいは長くなりそうです。ウイルスがどこかに存在する以上、感染を完全に抑えることは難しく、感染者数や重症者数を見つつ対策を緩和したり強化したりを繰り返すことになると考えられます。重要なのは、だれもが感染しうる、感染させうると考えて行動することです。感染は人と人との接触により広がりますので、これまで通り「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なる場所は避けるなど、引き続き一人一人が意識して行動していきましょう。

一方で、感染した人は通常の生活を送る中で感染しており、その感染は避けられないものであったことを忘れず、感染者やその家族、周囲の方に対して偏見を持たないように心掛けてください。体調が悪い方、感染が心配される方、感染した方が、安心して休み、また治療を受けられる環境、社会に復帰できる環境を皆さんの心構えで作って守ってください。そして、医療現場や介護施設など、感染が広がれば大きな被害が生じる場所に、ウイルスが持ち込まれないようにしたいものです。

皆さまには、今後とも、ご自身と大切な方、そして北海道を守るため、デマに惑わされることなく、引き続きリスクを避ける行動をとられるよう、お願いいたします。

北海道の皆様へのお願い

- (1) 「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なるような場は避けましょう
- (2) 体調が悪い時は外出を控えましょう
- (3) 手洗いの習慣を維持しましょう
- (4) 自分自身も感染者になりうると考えて行動しましょう